

西アジア諸国等文化遺産保存修復協力事業 (②セ03-12-2/5)

目 的

西アジア諸国、とくに内戦・紛争によって危機にさらされているアフガニスタン及びイラクの文化遺産の調査研究や文化遺産の保護・保存修復事業を通して、技術移転及び人材育成を図り、自国民の手による文化財保護事業の確立の支援を目指す。また、あわせて周辺地域（特に中央アジア、インド、コーカサス）の文化遺産の調査研究・保護への協力を実施する。

成 果

1. アフガニスタン（バーミヤーン）

ユネスコ文化遺産保存日本信託基金による「バーミヤーン遺跡保存事業」と連携し、バーミヤーン遺跡の保存修復を実施するとともに、アフガニスタンの考古学専門家の人材育成・技術移転を実施した。また、バーミヤーン遺跡の保存にむけた資料集を作成、刊行した。

1-1. バーミヤーン遺跡の保存修復事業

バーミヤーン遺跡において、アフガニスタン情報文化省と共同で「バーミヤーン遺跡保存事業」第11次ミッションを実施する予定であったが、諸般の事情により調査を中止した。次年度に延期して実施する予定である。

1-2. アフガニスタン文化財専門家研修事業

アフガニスタン考古学研究所よりアフガニスタン人専門家2名をキルギス共和国に招聘し、9月11日～17日にかけて発掘研修を行った。キルギス共和国国立科学アカデミー歴史文化遺産研究所と連携し、アクベシム遺跡において発掘、測量の方法や最新の機器の使用方法等についての研修を実施した。

1-3. バーミヤーン遺跡保存のための専門家会議への出席

アーヘン工科大学（ドイツ、アーヘン）で12月10日～11日に開催された第11回専門家会議「11th Expert Working Group Meeting for the Safeguarding of the Cultural Landscape and Archaeological Remains of the Bamiyan Valley World Heritage Property, Afghanistan」に出席した（山内和也、前田耕作、鈴木環、ファビオ・コロombo）。

1-4. アフガニスタン文化遺産調査資料集の出版

『Recent Cultural Heritage Issues in Afghanistan, Volume 4, Geophysical Survey of the Buried Cultural Heritage in Bamiyan: Final Reports of 1st and 2nd Missions』、『アフガニスタン文化遺産調査資料集別冊第5巻 バーミヤーン遺跡資料集2 バーミヤーン谷中心部の地形測量』を作成、刊行した。

1-5. 外部機関・団体との共同研究等

名古屋大学「ユーラシア大陸における文化遺産資料の自然科学的手法による年代学的研究」：名古屋大学への委託事業を通して、バーミヤーン遺跡などアジア各地の遺跡の出土遺物を対象に高精度の放射性炭素年代測定を実施し、考古・美術史研究の知見と総合して、遺跡の年代学的研究を行った。

2. イラク

イラク人文化財専門家を育成し、イラク人による文化財復興を支援する。イラク国立博物館より保存修復家1名をアルメニアに招聘し、11月21日～28日にかけてアルメニア共和国歴史博物館にて開催した「考古青銅製品の保存修復に関する国際ワークショップ」と連携して、保存修復に関する人材育成を実施した。

3. 西アジア周辺諸国における文化遺産の調査研究・保護への協力等

3-1. インド

アジャンター壁画の保存修復に関する報告書『Indo-Japanese Joint Project for the Conservation of Cultural Heritage, Series 3, Indo-Japanese Project for the Conservation of Ajanta Paintings-Digital Documentation of the Paintings of Ajanta Caves 2 and 9』を作成、刊行した。

3-2. 中央アジア

- ・タジキスタン出土の考古資料の保存をはじめとする、文化遺産保護活動への支援を実施した。また、壁画修復専門家1名をドイツより招聘し、6月12日に「タジキスタン国立古代博物館が所蔵する壁画断片の保存修復」に関する研究会を開催し、昨年度までに実施した保存修復成果の共有と公開を行った。
- ・キルギス共和国科学アカデミーとの文化遺産保護の分野における協力：文化庁委託文化遺産国際協力拠点交流事業と連携し、9月に「考古遺跡発掘」と「出土遺物の保存修復」に関するワークショップ、2月に「考古遺物の保存修復処置」と「出土遺物のドキュメンテーション」に関するワークショップを実施した。
- ・カザフスタン、キルギス及びタジキスタンにおける文化遺産のドキュメンテーションに関するワークショップ協力：ユネスコ/日本文化遺産保存信託基金事業と連携し、9月にカザフスタン及びキルギス、11月にタジキスタンにおいてワークショップを実施した。

3-3. エジプト

JICA事業「エジプト国大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト」のフェーズⅡにかかる国内支援業務を継続して実施した。

3-4. コーカサス

アルメニア共和国歴史博物館との考古青銅製品の保存修復に関する協力を実施した。文化庁委託文化遺産国際協力拠点交流事業と連携し、ワークショップを5月、11月に開催した。

4. 国際会議等への参加

「Expert Members Meeting of the Coordination Committee, Silk Roads World Heritage Serial and Transnational Nomination」（9月17日～20日、於ビシュケク、キルギス共和国、出席者：山内和也）。

研究組織

○川野邊渉、山内和也、安倍雅史、久米正吾、島津美子、鈴木環、邊牟木尚美、川口雄嗣、田島さか恵、近藤洋、本郷浩志（以上、文化遺産国際協力センター）、杉原朱美、藤澤明、前田耕作、渡抜由季、有村誠、谷口陽子、松田泰典、山藤正敏（以上、客員研究員）、森本晋、石村智、田代亜紀子（以上、奈良文化財研究所）

⑥刊行物 Area17

『パダン歴史地区文化遺産復興支援報告書：2011-2012調査成果 Laporan Bantuan Rekonstruksi dan Rehabilitasi Kawasan Bersejarah di Padang: Hasil Penelitian tahun 2011-2012』(②セ02の一環として実施)

平成23年度文化庁委託「西スマトラ州パダン市における歴史的地区文化遺産復興支援（専門家交流）事業」の成果のうち、パダン歴史地区の町並み及び建造物に関する現地調査の内容と成果を日本語とインドネシア語の両語併記でまとめたものである。(2013年3月刊行)



Conservation of Monuments in Thailand [V] (②セ02の一環として実施)

本報告書は、タイ文化省芸術局との協力合意書に基づいて平成20年以降に実施した共同研究に関して、2012（平成24）年8月にバンコクで開催した研究会の内容を中心に英語版でまとめたものである。(2013年3月刊行)



『バーミヤーン遺跡資料集2 バーミヤーン谷中心部の地形測量』アフガニスタン文化遺産調査資料集別冊第5巻(②セ03の一環として実施)

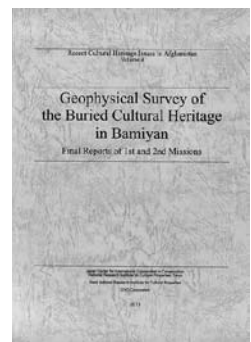
Documentation of the Bamiyan Sites 2, Topographic Survey of the Central Part of the Bamiyan Valley, Recent Cultural Heritage Issues in Afghanistan, Supplement 5

本書は、株式会社パスコとの共同研究によって実施されたバーミヤーン谷中心部の地形測量の成果である。重要な遺跡が数多く分布する谷の中心部の衛星画像及び地形図を編集、収録し、また測量の方法についても詳細に記載したものである。なお、ユネスコ・世界遺産センターからの受託事業「ユネスコ/日本信託基金 バーミヤーン遺跡保存事業」の一環としても実施された。(2012年11月刊行)



Geophysical Survey of the Buried Cultural Heritage in Bamiyan: Final Reports of 1st and 2nd Missions, Recent Cultural Heritage Issues in Afghanistan, Volume 4 (②セ03の一環として実施)

本報告書は、『バーミヤーン遺跡の地下探査－第1次及び第2次ミッションの成果－』アフガニスタン文化遺産調査資料集第4巻(2010年4月刊行)の英語版である。(2013年3月刊行)



Indo-Japanese Project for the Conservation of Ajanta Paintings—Digital Documentation of the Paintings of Ajanta Caves 2 and 9, Indo-Japanese Joint Project for the Conservation of Cultural Heritage, Series 3 (②セ03の一環として実施)

本報告書は、『アジャンター壁画の保存修復に関する調査研究事業—第2窟、9窟壁画のデジタルドキュメンテーション—』インドー日本文化遺産保護共同事業報告第3巻（2012年3月刊行）の英語版である。（2013年2月刊行）



『在外日本古美術品保存修復協力事業 絵画／工芸 平成23年度』（②セ04の一環として実施）

本書は、在外日本古美術品保存修復協力事業における作品修復、及びワークショップに関する報告書である。

絵画としては、源平合戦図屏風（スイス）、竹に雀図屏風（スイス）、四季花鳥図屏風（アメリカ）、伯牙弹琴図屏風（イギリス）、山水図（ドイツ）、漆工芸品としては、菱繫文螺鈿筆筒（チェコ）、花樹鳥蒔絵螺鈿筆筒（イギリス）、螺鈿鶴形合子（オランダ）、花鳥螺鈿枕（オランダ）、瀧蒔絵鼓箱（ドイツ）、折枝散蒔絵喇叭（オランダ）の修復を行った。

ワークショップは、「紙本絹本文化財の保存と修復」（ドイツ・ベルリン、2010（平成22）年10月5日～13日）、「漆工品の保存と修復」（ドイツ・ケルン、2010（平成22）年11月14日～25日）の内容で行った。

